

## 前回合同部会（第7回環境部会、第6回アクティビティ・マネジメント部会） の振り返り

（前回会議）

日時：平成31年2月4日（木）

場所：熊本市動植物園 緑の相談所 2階会議室

	ご意見	対応
1	●広木地区の西側も保全ゾーンとし、モデル的に多様な環境がある空間を目指していきたい。	・今後の検討事項（ゾーニング）
2	●出水地区に“希少動物の巣づくり”が書いてあるが、それを見せると希少動物はいなくなる。	・削除（希少動物に配慮）
3	●江津湖の環境は人の手が加わってきたから維持されてきた。長期的な視点では、今後も人の手を入れていくことが大事。	・今後の検討事項（施策事業）
4	●環境保全を行うのは全体。特に配慮すべきところのみを着色し、意味を強くした方がいい。	・今後の検討事項（ゾーニング）
5	●江津湖の魅力向上に資する利活用も必要だが、環境保全とのバランスが大事。	・今後の検討事項（施策事業） ※環境保全と利活用のバランス
6	●庄口地区を、地下水保全の重要なゾーンということを明記すべき。また、電車通りを挟んだ北側も、環境のネットワークからするとすごく大事な場所。	・今後の検討事項（ゾーニング） ※地下水の保全
7	●江津湖の持つ価値は「湧水による土地利用の痕跡」に尽きると思う。市民の多くは江津湖が人工湖であるとは知らないと思うので、その成り立ちや価値についても触れてほしい。	・資料2、3に反映 ※具体的施策については今後検討
8	●湧水ポイントはたくさんあるが、それらが見せることができる場所なのか確認が必要。	・今後の検討事項（施策事業） ※現状を調査した上で反映
9	●意見聴取を行うにあたり、対象次第ではオープンで意見を聞くのではなく、きちんと江津湖の現状を理解してもらった上で実施した方がいい。	・資料4に反映